



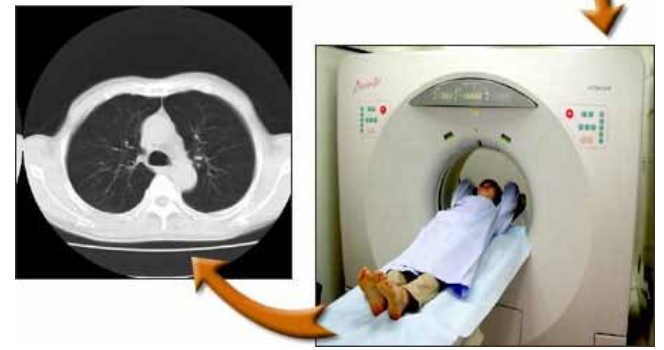
みんなで受けよう！がん検診

肺がん検診(ヘリカルCT検査): 40~64歳

肺がんは、がんの中でも治りにくいがんのひとつで、川南町のがん死亡の大半を占めます。ヘリカルCTなら「治せる2cm以下の小さな早期がん」を発見することが可能です。

検診車の中で、寝台に横になり、15秒間の息止めの間に、受診者の周りをX線装置が回転して撮影を行います。

全身が写りますので、肺以外の病気も分かります。受診者のうち約2割の人が、医療機関紹介となり、個人負担で再度CT検査を受けることになります。

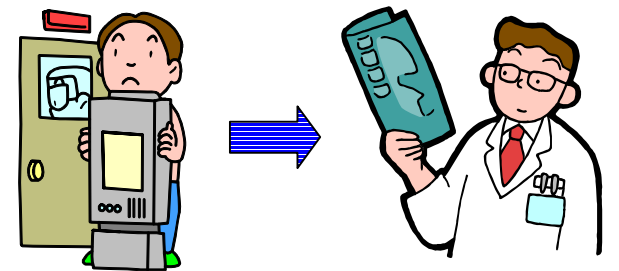


検査所要時間	1人あたり	3分(息止め約15秒間)
検査人員	半日(2時間30分)	50人

肺がん検診(レントゲン): 40~64歳

検診車で胸部のX線写真(レントゲン)の検査を行います。

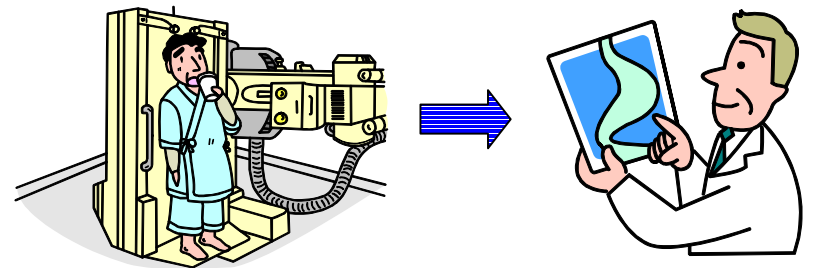
また、問診の結果、該当する方は、喀痰細胞診(3日間の痰の検査)を行います。自宅で、3日間痰を取って頂き、保健センターに持って行きます。



胃がん検診: 40歳以上

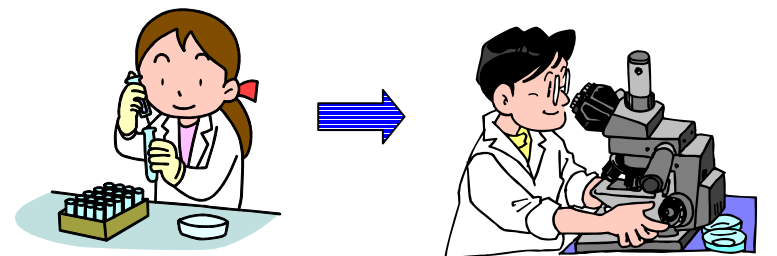
検診車でバリウムを飲んで、胃部のレントゲン検査を行います。

検査前夜は、夕食は午後8時頃までに済ませて、午後9時以降は飲食しないようにして下さい。検査が終わるまで、禁酒・禁煙となります。



子宮(頸部)がん検診: 20歳以上の女性

検診車の診察台で、子宮頸部(入り口)の細胞を綿棒かブラシで取り、顕微鏡で観察します。



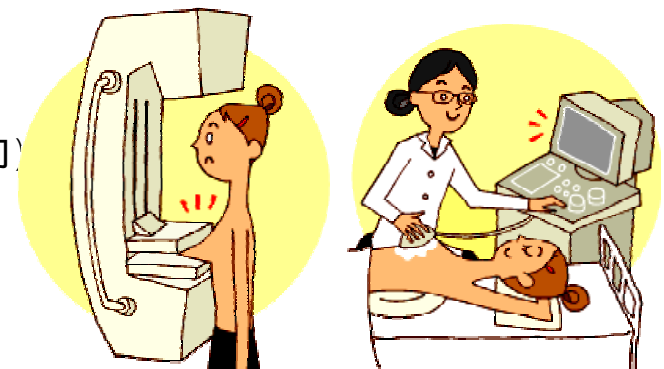
乳がん検診: 20歳以上の女性

マンモグラフィ(乳房専用レントゲン)検査と超音波検査を行います。

10月の検診(宮崎県健康づくり協会検診車)

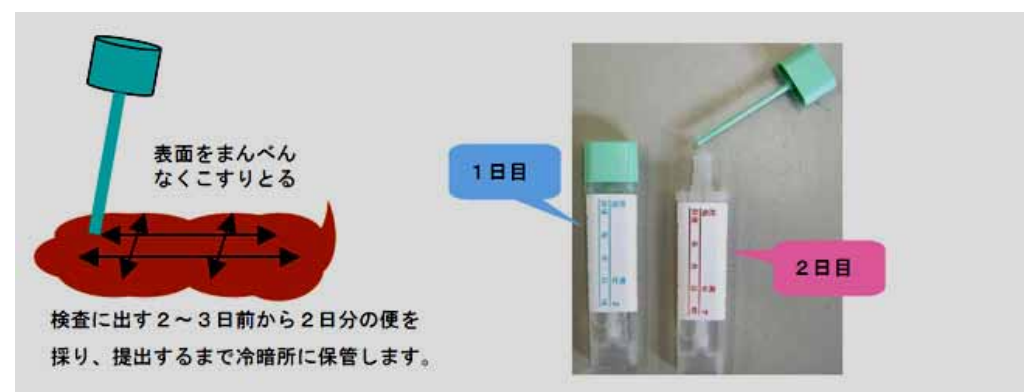
20歳以上50歳未満の方...マンモグラフィ2方向撮影(上下方向・斜め方向)
(40歳代に罹患率のピークがあるため)

50歳以上の方...マンモグラフィ1方向撮影(斜め方向)



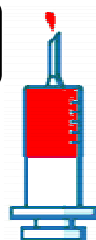
大腸がん検診(便潜血検査): 40歳以上

指定の採便容器に2日間自宅で便をとり、検査容器を提出して頂き、便の中の微量の血液を検出します。



前立腺がん検診: 50歳以上の男性

血液検査を行い、PSA(前立腺特異抗原)を測定します。PSAとは、前立腺で作られる蛋白質のことです。



【問合せ先】

川南町保健センター 27-8009